

9月議会(定例会)のご報告

第1問「災害対策」、第2問「安曇野市をひとつにするために」、第3問「スマートフォン・ゲーム依存への対策」を取り上げました。



防災ラジオ



小林陽子
議会一般質問
QRコードから一般質問の録画放送にリンクできます。

「安曇野市における災害対策について」

(問) 安曇野市が想定する災害は地震、洪水、土砂災害だが、昨今の異常気象では、数年に一度の「記録的短時間大雨」も各地で発生している。今年は大阪北部地震、7月豪雨、台風21号、北海道胆振東部地震などの災害が各地で発生した。殊さらに危機意識をあおることはないが、災害はいつでも起こり得るので、災害への備えを入念にしておきたい。本市の災害対策は万全か。

(宮澤市長) 市では、防災行政無線放送、防災ラジオ、メール配信サービスなどを用いて、市民の命と暮らしを守るために情報発信をしており、早目の避難情報の発令、避難所の開設に努める。防災訓練への参加等を通して、住民の防災意識の高揚と災害対応力の向上を期待している。今まで大災害がなかったからというような意識もあるかと思っているが、災害がいつ来てもおかしくない状況だ。地域や家庭において避難場所のあり方等を話したり、自らの命は自ら守る意識でお願いしたい。

(問) 防災行政無線は、強い雨や雷雨で窓を締め切ると室内では聞こえ難く、情報入手が困難では。防災ラジオやメール配信サービスの普及状況は。電力供給停止でテレビやスマホが使えない中でも、ラジオが有効であることから、特に防災ラジオの普及を促進すべきでは。

(堀内総務部長) 防災ラジオは販売台数 3,122 台(8月末現在)、世帯普及率 7.9%で、平成 35 年度末までに 3,800 台(普及率 10%)の普及を目指している。ラジオは停電時には有効な防災用品で、非常用持ち出しリストにも記載している。購入補助金制度対象もあるので活用してほしい。メール配信サービスは登録者数 5,352 人(8月末現在)、世帯普及率 13.5%で、高いとは言えない。周知不足もある。

(問) 防災対策として 2 つ提案がある。1つは防災カードの整備。市内でも自治会等の活動の一環で取り組んでいる先進事例がある。もう一つは、高齢者、女性や子供への備え、障がいを持つ方の備え強化である。生理用品やおむつ等の備蓄、高齢者や障がいを持つ方の備えとしては、避難場所までの経路・移動時間の確認や、障害物点検など、確実に避難行動に活かす対策が必要では。

(総務部長) 防災マップに災害での家族離散を想定した行動欄を設けてあり、項目の充実を図りたい。生理用品等の備蓄は、初期対応範囲での備蓄は整えている。また、日ごろから自主防災組織などが主催する地域の避難訓練等において、地域の危険箇所等を把握して、災害発生時に高齢者や子供、障がい者など要配慮者が円滑に避難できる体制をそれぞれ構築していただきたい。市では、土砂災害対策における住民主導型の警戒避難態勢づくりとして、県と市及び地元区民で協議をして作成する自主避難計画を作成中である。

→ 防災は、ひとりひとりが自分のこととして、危機意識を持って備えることが大事です。また、防災は地域の力、地域のきずなでもあります。各地域で連携・連帯が、引き続き育まれることを期待します。

「安曇野市が一つになるために必要なことは～市誌編纂と新市博物館構想」

現行の旧 5 町村誌



(問) 合併から 13 年、市民の多くが一つになった安曇野市を実感するものとして、市誌編纂や新市立博物館は位置付けられるのではないかと。(橋渡教育長) 安曇野市の歴史・文化、自然等を一つにまとめ安曇野市誌として編み直す必要がある。合併 20 年の区切りで一部でも完成を目指す。

(問) 新市立博物館構想の進捗はどうか。

(市長) 現在の郷土博物館は施設的に不十分。新規建設が望ましいが、財政逼迫も考慮すると別の既存施設の活用も視野に入れ、市にふさわしい博物館の実現を図りたい。

「スマホ・ゲーム依存への対策」



(問) 今年 6 月、世界保健機構がゲーム障害を新たな疾病に認定した。日本でも、インターネット依存の中高生は約 93 万人と推測される、と厚生労働省が発表した。本市でも対策の必要があるのでは。

(教育長) 本市でも看過できない状況。スマホ・ゲーム機等の使用ルール作り着手する必要がある。ゲームやネットに関わる時間が長く、朝起きられない、昼夜逆転の生活になる、といった依存が心配される小・中学生の報告もある。

(問) スマホ・ゲーム機等の代わりになる遊びや活動が必要ではないか。

(西村教育部長) 他者との関わりや身体を動かし思い切り遊ぶことは重要。体験型活動の充実を図る。

(問) 親世代への教育や指導についての対策はどうか。

(高橋保健医療部長) ゲーム依存を疾病と捉え、疾病予防の観点からも親への啓発も推進する。

(花村福祉部長) 園で啓発リーフレットの配布や、園長談話や懇談会等でも取り上げるようにしている。

市議会トピックス

■ 「安曇野市唯一の市営穂高プールの継続を希望する陳情」に関する動き

去る 8 月、「穂高プールを守る会」より 1 万筆を超える署名用紙を携え、市長及び市議会へ陳情書が提出されました。趣旨は、子どもが思いきり遊べるプールを廃止ありきではなくて、何らかの形で残してほしい、というもの。福祉教育委員会では、9 月議会では審議不十分として継続審査と判断、3 回の協議会を開催(10/15、16、11/1)し、市が行なったアンケート結果の分析報告や、現地視察等も交え「縮小・代替案の検討が十分なことを要望する。検討期間中は維持費用圧縮に努めつつ、現プールの営業を継続されたい」の旨の提言書にまとめ、11/1 付で委員長から市教育長に手渡しました。



11/20～21 行政視察(奈良県生駒市・三郷町)

11/26(月) 安曇野松筑広域環境施設組合会議

11/28(水)～12/21(金) 12 月議会定例会

12/15(土) 老人クラブ連合会穂高支部総会

1/12(土) 会派政和会・市政報告会

1/13(日) 消防出初式・成人式

1/15～16 議員研修(千葉県)

1/26(土) パリテ・カフェ@信州 安曇野市初開催

1/31～2/1 広報特別委員会視察(宮城県利府町・埼玉県寄居町)

活動予定(2018/11～19/1)

新しい試みで会派議員合同の報告会を行ないます。ぜひご参加ください。
(1/12 13 時 30 分～、豊科公民館)